

2022年9月24日

妊娠中の加熱式タバコ使用が胎児の発育にもたらす影響：日本全国調査
アイコス・プルームテック等使用妊婦の低体重児出生リスクは2.5倍

【松崎雑感】

日本のタバコ製品を使う20代～30代女性の30%～40%は、アイコスやプルームテックなどの「加熱式タバコ」を使っています（スライド4枚目）。タバコ製品を使わない場合に比べて、加熱式タバコユーザー妊婦は、低体重児（下位10%）出生リスクが2.5倍となることがわかりました。田淵先生をはじめとしたチームの極めて重要な貢献です。ニコチンばく露が主因と思われませんが、それ以外の有害成分の関与については今後の課題です。しかし、健康影響がわからないのに、発売される商品があることが大問題です。

妊娠中の加熱式タバコ使用が胎児の発育にもたらす影響：日本全国調査

Hosokawa Y, Zaito M, Okawa S, et al. Association between Heated Tobacco Product Use during Pregnancy and Fetal Growth in Japan: A Nationwide Web-Based Survey. *Int J Environ Res Public Health*. 2022;19(18):11826. Published 2022 Sep 19. doi:10.3390/ijerph191811826

妊娠中の紙巻きタバコは胎児の発育に悪影響をもたらすことが分かっている。しかし、加熱式タバコ（HTP）使用の影響はまだ明らかにされていない。

妊娠中の加熱式タバコ使用がsmall for gestational age（SGA在胎不当過小：身長体重下位10%未満。ちなみに低体重出生は2500g未満）をもたらすかどうかを検討するために、5647名の単胎妊娠妊婦を4群（生涯非喫煙者、妊娠前に禁煙者、紙巻きタバコのみ喫煙継続者、HTPのみ使用継続者）に分けて、SGA発生率をロジスティック回帰分析をもちいて解析した。

HTPのみ使用妊婦は1.8% (102/5647)

SGAは2.9% (164/5647) 。

生涯非喫煙者と比較して、HTPのみ使用者のSGA率は有意に高かった (5.9% [6/102] vs. 2.7% [111/4144]。調整オッズ比2.50 (95% confidence interval [CI], 1.03-6.05)) 。

紙巻きタバコ継続群のSGA率は生涯非喫煙者よりも高い傾向が見られたが有意ではなかった (1.95 (95% CI, 0.81-4.67)) 。

日本のこの集団では、妊娠中HTP使用がSGAリスクを高めることが示された。

SGAオッズ比

加熱式タバコ使用vs非喫煙者

	OR (95% CI)
Model 1	2.68 (1.13–6.40)
Model 2	2.49 (1.04–5.97)
Model 3	2.50 (1.03–6.05)

加熱式タバコ使用 < 10個vs非喫煙者

Model 1	1.77 (0.41–7.64)
Model 2	1.58 (0.36–6.94)
Model 3	1.45 (0.32–6.67)

加熱式タバコ使用 ≥ 10個vs非喫煙者

Model 1	3.48 (1.20–10.09)
Model 2	3.14 (1.06–9.30)
Model 3	3.14 (1.06–9.30)

0.1 1 10

Odds Ratio

【調整因子】

モデル1：年齢、妊娠前後のBMI変化

モデル2：モデル1に追加：年収、就業状態、学歴、居住地（都市かそれ以外か） 出産日

モデル3：モデル2に追加：妊娠高血圧、慢性腎臓病、自己免疫疾患

タバコ製品種類別使用率 女性

厚生労働省「平成30年国民健康・栄養調査報告」

